

4. にぎわいと豊かさを創りだす風格のあるまち

－産業の振興－

恵まれた自然や伝統、歴史的な観光資源を活かし風格とにぎわい、そして豊かさを実感できるまちを目指します。また、産業間の相互連携によりバランスのとれた産業の発展を目指します。

1. 商業

— 活力ある商業の育成

— 中心市街地商業等の活性化

— 経営の近代化

2. 工業

— 産業基盤の整備

— 中小企業への支援

3. 農業

— 生産基盤の整備

— 農業技術への対応

— 経営の自立・安定

— 農地の有効利用

— 地産地消の推進

4. 林業

— 林業基盤の整備

— 林業経営の振興

— 森林の保全

— 森林文化の創造

5. 観光

— 都市観光の推進

— 地域資源を活かした観光まちづくり

— 受入体制の整備

— 情報発信の強化

6. 生鮮食料品流通機構

— 健全な市場運営

7. 山間地域

— 自然環境の保全・活用

— 山間地域の活用

8. 勤労者

— 勤労者の生活支援

— 雇用対策の推進

1 商業

施策の基本的考え方

- 商店街が取り組む街路灯などの共同施設の整備に対する支援を行い、商店街の安心安全及び魅力と賑わいの創出を図ります。
- 市民、商業者、行政、その他関係機関等が連携し、中心市街地活性化基本計画及び商工業振興指針に基づく、効果的な事業を展開し、中心市街地における商業等の活性化を図ります。
- 経営の近代化を図るため、融資制度の充実、共同事業の促進、診断・指導事業の充実や経営者意識の高揚を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
商業 01	01 活力ある商業の育成	01 商業推進事業
		02 中心市街地商業等活性化事業 <small>(再掲)</small>
	02 中心市街地商業等の活性化	01 中心市街地商業等活性化事業
		02 商業推進事業 <small>(再掲)</small>
	03 経営の近代化	01 融資対策事業

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

01 活力ある商業の育成

■商業推進事業 【事業No.04010101】	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤル	237-5694
			商工金融係		

事業概要

●商店街が行う街路灯などの共同施設の整備に対する支援を行い、商店街の安全安心及び魅力と賑わいの創出を図る。

現況と課題

- 店主の高齢化及び後継者不足等による商店数の減少により、商店街活動の維持が困難となっている。
- 商店街活性化に向けた取り組みを促進する人材が不足している。
- 郊外への大型店の進出等の影響により、小規模小売店の閉店が増加している。

今後の事業展開

●各種支援制度については、主体的かつ積極的に事業に取り組む商店街に対する重点配分に努めるとともに、老朽化した街路灯及びアーケード等の補修や、街路灯LED化の推進等の支援制度により、商店街の負担の軽減と環境への配慮に努めるとともに、安全安心な商店街の形成を図っていく。

成果指標	実績値		目標値			目標値合計 (H27～29)
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
商店街連盟加盟商店会数	28	27	27			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成26年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	5,734		4,817			

■中心市街地商業等活性化事業 【事業No.04010102←No.04010201】再掲	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤル	237-5693
			商店街活性化係		

02 中心市街地商業等の活性化

■中心市街地商業等活性化事業 【事業No.04010201】	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤルイン	237-5693
			商店街活性化係		

事業概要

- 市民、商業者、行政、その他関係機関等が連携し、中心市街地活性化基本計画及び商工業振興指針に基づく事業や、まちにとって効果的な事業を展開し、中心市街地における商業等の活性化を図る。

現況と課題

- 中心市街地の中でも活性化が期待される重点エリアを設け、官民協働によるストリート再生チームの事務局体制の刷新を図り、また、運営方法を抜本的に見直したことで、商店街関係者や行政、関係団体等による新たな枠組みやネットワークの構築が図られた。また、各種補助制度により商店街関係者だけでなく、市民の中心市街地活性化への取組への参画を促進し、賑わいの創出を図った。今後は、更に効果的な情報発信等に努め、空き店舗への創業者の出店を促すなど、中心市街地活性化に係る事業への多くの参画者を獲得する必要がある。

今後の事業展開

- 各種補助制度の活用による中心市街地の再生及び賑わい創出に努めるとともに、関係機関、団体、市民等と連携、協力して中心市街地における商業等の活性化に資する事業の創出に努める。
また、「甲府未来創り重点戦略プロジェクト」に位置付けられたジュエリー関連企業の集積による産業振興を図るため、ものづくりに関する専門家等のアドバイスによるブランニングや空き店舗補助制度の改正等を検討し、宝石のまち甲府を肌で感じられるようなジュエリーを中心としたクラフト系ゾーニングを進め、若手クリエイターの出店を支援していく。

成果指標	実績値		目標値			目標値合計 (H27～29)
	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
中心市街地における空き店舗数(件)	231	193	189			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	46,195		46,792			

■商業推進事業 【事業No.04010202←No.04010101】再掲	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤルイン	237-5694
			商工金融係		

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

03 経営の近代化

■融資対策事業 【事業No.04010301】	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤル	237- 5694
			商工金融係		

事業概要

- 中小企業の経営及び構造の改善並びに経営基盤の強化を促進するため、中小企業者に対し、預託金・寄託金を原資に取扱金融機関を通じ、必要な事業資金の融資を行い、本市商工業の健全な発展に資することを目的とする。

現況と課題

- 国においては、業況の悪化している中小企業者を対象としているセーフティネット保証第5号の要件に、東日本大震災により影響を受けた中小企業者を加えた保証制度を継続している。
そのため、セーフティネット保証などに伴う認定を速やかに行うとともに、本市の制度融資の中で低利で償還期間の長い特別経営安定資金等の融資が円滑に実行できるよう努める。

今後の事業展開

- 今後も、金融機関や保証協会と連携を図りつつ、小規模企業者小口資金や特別経営安定資金など市の制度融資を推進することにより、中小企業者の個々の実情に適した資金繰りの支援を行っていく。

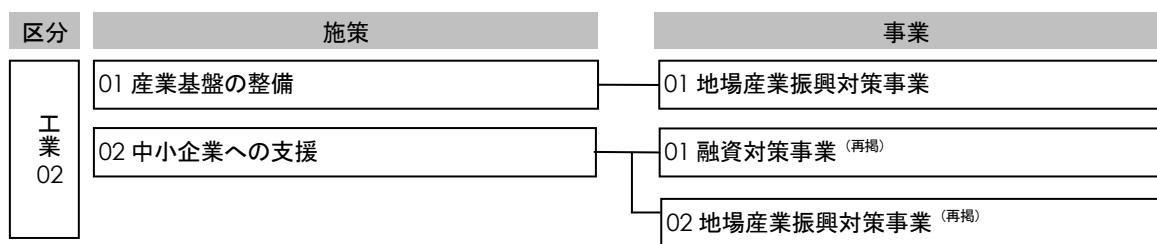
成果指標	実績値		目標値			目標値 (H27～29)
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
倒産にかかる 融資金額比率(%) (融資残高に対する)	1.25	2.38	2.00			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成26年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	548,415		546,860			

2 工業

施策の基本的考え方

- 中小企業振興策として経営革新や人材育成に対する支援をするとともに、産業の活性化を図るため、既存工業団地の生産環境の維持増進及び企業誘致のための環境整備に努めます。
- 新規分野への進出、高度化、企業連携や異業種交流などを支援し新たな産業の創出を図るための環境整備に努めます。

施策・事業の体系



01 産業基盤の整備

■地場産業振興対策事業 【事業No.04020101】	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤル	237-5695
			商工金融係		

事業概要

- 地域産業の発展の担い手である地場産業・伝統産業を支援し、産地基盤の確立と販路拡大並びに業界の振興及び育成を図る。

現況と課題

- 本市の中小企業は、経営基盤が脆弱な個人経営・生業型企業が多いため、異業種製品のマッチング*や、地域ブランド構築のための新商品開発費助成などと共に、人材育成のための支援が必要である。

今後の事業展開

- 各業界組合等への助成については、より効果的な支援策を検討する。
- 甲府商工会議所、各商工業団体等と連携する中で、販路拡大に繋がる効果的な方策を検討し、工業振興を図るための事業を積極的に推進していく。
- 地場産品の地域ブランド化に取り組むため、各業界団体等の異業種協業化*、及び地域資源を活用した特色ある新商品の開発を推進し、地場産業の発展と地域の活性化を図る。

成果指標	実績値		目標値			目標値合計 (H27~29)
	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
地域ブランド化を目指す商品等の認定件数(件)	3	0	1			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27~29)
	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	16,088		16,007			

02 中小企業への支援

■融資対策事業 【事業No.04020201←No.04010301】再掲	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤル	237-5694
			商工金融係		

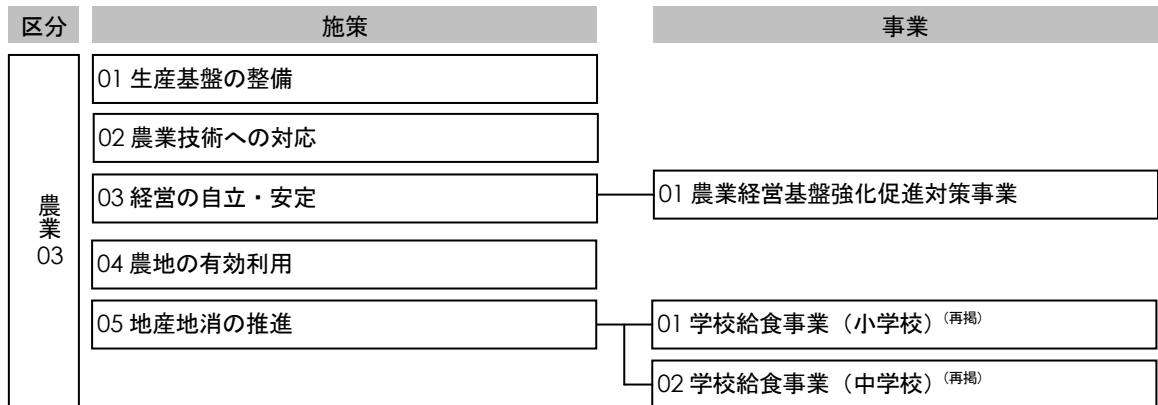
■地場産業振興対策事業 【事業No.04020202←No.04020101】再掲	担当部課係名	産業部	商工課	ダイヤル	237-5695
			商工金融係		

3 農業

施策の基本的考え方

- 優良農地*の確保・保全を図るため、生産環境基盤の整備を行います。
- 農業技術の普及指導に努めます。
- 農家の自立と経営の安定を図るため、農業経営改善を支援し、農業関連施設の近代化の促進や生産販売対策の拡充、他産業との連携を図ります。
- 農地銀行*の活用促進、遊休農地*対策の推進、中山間地域等直接支払い制度*の推進を行いながら、農地の有効利用を図ります。
- 地産地消*の推進を図ります。

施策・事業の体系



*のついた用語は用語解説をご参照ください。

03 経営の自立・安定

■農業経営基盤強化促進対策事業 【事業No.04030301】	担当部課係名	産業部	農政課	ダイヤル	298 - 4834
			振興係		

事業概要

- 農業者及び関係団体をソフト・ハード両面で支援することにより、効率的で安定的な魅力のある農業経営を目指す農業者を確保・育成するとともに、これらが甲府市農業の相当部分を担うような農業構造の構築を目指す。

現況と課題

- 認定農業者の高齢化に伴い更新時（認定有効期限5年）に再認定を辞退する農業者が増えている。近年の社会情勢から、非農家からの新規就農や企業の農業参入などの相談が増えており農業の担い手も多様化し、指導、支援も多様な対応が求められている。
- 国は、新たに平成26年度より認定農業者をはじめとする担い手育成・確保のため、市が認定した新規就農者を支援する認定新規就農制度を創設し地域農業の中心となる担い手となるよう施策を展開することとなった。今後は、関係機関と連携し、未認定農業者や新規就農者の指導、支援に努め、未認定農業者を認定農業者に新規就農者を認定新規就農者に誘導する必要がある。

今後の事業展開

- 農業経営の強化策として、認定農業者や認定新規就農者等へ農地が集積されるよう支援を行うとともに、資金の利子助成や経営相談の対応や研修会などを開催し、効率的で安定的な経営体の育成に努める。
- 認定農業者や認定新規就農者の育成・確保を図り、農地の利用集積をさらに推進するため、国が創設した地域農業マスタープラン作成事業を活用し、北部山付東部果樹地域、南部平坦地域、中道上九一色地域、七覚地域の4つのマスタープランを作成した。今後は、農地中間管理事業、青年就農給付金、経営転換協力金等の制度を活用し、担い手の体質強化を図るとともに、地域農業の振興に努める。

成果指標	実績値	実績値	目標値			目標値 (H27~29)
担い手による総経営面積(m ²)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	292.0	284.6	320.25			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27~29)
	平成26年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	35,492		28,756			

05 地産地消の推進

■学校給食事業（小学校） 【事業No.04030501←No.02010401】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223- 7322
			保健給食係		

■学校給食事業（中学校） 【事業No.04030502←No.02010402】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223- 7322
			保健給食係		

4 林業

施策の基本的考え方

- 適正な森林施業の実施により、健全な森林資源の維持増進を図るため、「甲府市森林整備計画*」に基づいた、治山事業の推進、林道の整備促進を推進します。
- 林業経営の安定と、林業従事者の安定性を促進させるため、林業構造改善を推進し、林業の担い手の確保に努めます。
- 公益森林（水源かん養林）の整備促進を図り、水資源の安定確保のため、手入れの行き届かない民有林について、森づくりコミッションと連携し、「企業の森」等の誘致確保に努めます。
- 森林とふれあう環境の整備を行うとともに、民有林の適時適切な森林施業の推進を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
林業 04	01 林業基盤の整備	
	02 林業経営の振興	01 森づくり推進事業（再掲）
	03 森林の保全	01 森づくり推進事業
	04 森林文化の創造	01 森づくり推進事業（再掲）

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

02 林業経営の振興

■ 森づくり推進事業 【事業No.04040201←No.04040301】再掲	担当部課係名	産業部	林政課	ダイヤル	298-4837
			森林保全係		

03 森林の保全

■ 森づくり推進事業 【事業No.04040301】	担当部課係名	産業部	林政課	ダイヤル	298-4837
			森林保全係		

事業概要

- 地球温暖化防止への取り組みが重要となる中、本市総面積の64%を占める森林の有する公益的機能の高度発揮が図られるよう、適正な森林整備を進める造林・間伐事業、更には、水源地域森林や荒廃山地の整備のための治山事業、森林整備の効率化を図る林道事業へ取組む。また、市有林や山村地域の基幹産業である林業の経済林としての位置付けの確立に取り組む。

現況と課題

- 木材産業の活性化や水源涵養などの森林機能を保全する森林整備推進が重要であるが、木材価格低迷などによる生産意欲の減退や、林業労働力確保などが大きな課題である。

今後の事業展開

- 「甲府市森林整備計画」に基づき、手入れが行き届いていない森林を対象として健全な森づくり推進を図るため、県、森林組合等と連携を図るなかで、森づくり推進事業を継続的に実施する。
- 甲府市有林については、森林資源の有効活用を図るなかでの森林整備と経済林としての活用推進のため、「森林経営計画」に基づいた森林整備の推進や間伐材の活用について調査検討を行い資源の有効活用を図る。

成果指標	実績値		目標値			目標値 (H27～29)
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
公有林整備面積 (ha)	12	20.96	50.89			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成26年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	8,726		16,866			

04 森林文化の創造

■ 森づくり推進事業 【事業No.04040401←No.04040301】再掲	担当部課係名	産業部	林政課	ダイヤル	298-4837
			森林保全係		

5 観光

施策の基本的考え方

- 観光客はもとより、ビジネスやコンベンション*を目的に来甲する人々が、本市の魅力を感じることができ、次の機会にはリピーター*として訪れてもらえるよう、本市の豊富な地域資源を組み合わせた回遊・滞在型の「都市観光」ができる観光地づくりに努めます。
- 多様な観光客を誘致するため、歴史・伝統・文化などを積極的に活用し、人を惹きつける賑わいのある観光地づくりに努め、来甲者や観光客のニーズを的確に捉えた施策の展開を図ります。
- 本市の交通の利便性や立地条件を最大限活用しながら、国内外観光客の受け入れ体制の整備を図ります。また、観光客と市民との交流の主体となる担い手の育成に努めます。
- 本市の魅力を国内外に広く発信し、多くの人々に本市を訪れてもらうため、多種・多様・多面的な誘客宣伝活動の展開を効果的に行います。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
観光 05	01 都市観光の推進	01 観光開発事業
	02 地域資源を活かした観光まちづくり	01 観光開発事業 (再掲) 02 まつり推進事業
	03 受入体制の整備	01 観光開発事業 (再掲)
	04 情報発信の強化	01 観光開発事業 (再掲)

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

01 都市観光の推進

■観光開発事業 【事業No.04050101】	担当部課係名	産業部	観光課	タイム 237-5702
			観光係	

事業概要

- 「観光振興計画推進会議」（仮称）を設置する中で、観光関連団体等と連携し、活力ある魅力的なまちづくりを推進する。
- 本市の地域資源を活用した、体験型・交流型の要素を取り入れた着地型観光（ニューツーリズム）ツアーやイベントを実施することで、観光客の誘致とリピーターを創出し、交流人口の増加による地域活性化を図る。
- 観光情報や本市の魅力的な地域資源などを観光パンフレットなどの紙媒体、ホームページやSNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）といった電子媒体、雑誌や新聞等さまざまな情報メディアを使い分けて発信することにより、国内外へ効果的なプロモーション活動を実施する。
- 主に外国人観光客等の利便性向上、観光・交通情報等の発信力強化、大規模イベントや災害時の情報伝達手段の充実のため、公衆無線LANサービスの普及を促進する。
- 「甲府市観光客誘致対策補助金交付制度」の周知を積極的に行い、滞在型の観光客の増加を図る。
- 本市の奥深い歴史を体感してもらうため、さまざまな歴史的な背景・伝統・文化を活用し魅力あるイベントの企画や実施環境の整備に努める。

現況と課題

- 開府 500 年という大きな節目を迎える本市の歴史的背景への関心の高まりやオリンピック・パラリンピックの開催・リニア中央新幹線の開通を控え、外国人観光客の増加が予想される。
- 近年の社会情勢の変化や価値観の多様化により、旅行形態も「見る観光」から「芸術や文化を楽しむ、街並みや文化遺産、地場産業に触れる」、あるいは「地元の人と交流する」など多種多様となっている。またインターネットやスマートフォンの普及による観光客の情報収集方法の変化も旅行形態の多様化に拍車をかけている。

今後の事業展開

- 開府 500 年という大きな節目を迎えるにあたり、歴史・伝統・文化を活用し、関連施設の整備、イベントの企画、実施環境の整備といった関連事業を展開し、国内外に向けて本市の魅力を発信していくことで人を惹きつける賑わいのある観光地づくりに努める。
- 外国人観光客向けの情報発信の強化や施設整備によるインバウンド推進に向けた事業を戦略的に展開し、また点在する地域観光資源を都市観光という形に再構築することで、国内はもとより増加が見込まれる外国人観光客に本市の様々な魅力を感じていただける観光地づくりに努める。
- 海外への各種プロモーション等を新たに展開して外国人観光客の誘客を推進するとともに、公衆無線LAN等の受入体制の整備を推進する。
- 平成 26 年度に策定した第 2 次甲府市観光振興基本計画に基づき、各種関係団体等とのさらなる連携を図る中で、観光振興にかかわる多くの取り組みを融合し、効果の高い観光施策の実施に努めていく。

成果指標	実績値		目標値			目標値合計 (H27~29)
	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
年間外国人宿泊延人数 (人)	9,350	11,705	12,200			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27~29)
	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	13,575		22,303			

02 地域資源を活かした観光まちづくり

■観光開発事業 【事業No.04050201←No.04050101】再掲	担当部課係名	産業部	観光課	ダイヤル	237-5702
			観光係		

■まつり推進事業 【事業No.04050202】	担当部課係名	産業部	観光課	ダイヤル	237-5702
			観光係		

事業概要

- 「信玄公祭り」や「甲府大好きまつり」を通じ市民のふるさと意識を醸成し、参加者の自発的意識のもと、市民連帯感の高揚を図る。さらに、「信玄公祭り」においては、県内外の観光客に親しまれる祭りとして実施し、交流人口の増加を目指していく。

現況と課題

- 信玄公祭りについては、晴天や満開の桜に恵まれ、対前年度比 15,450 人増の 135,000 人であった。
- 甲府大好きまつりにおいては、平成 20 年度より協賛金を募集し運営してきており、収入は前年度実績を下回ったもののほぼ例年並みの協賛金収入であった。また、内容についても、新たな試みを随所に織り交ぜながら実施し、また前年度に比べて天候にも恵まれたことから、約 31,000 人（対前年度 8,000 人増）の来場者であった。

今後の事業展開

- 第 44 回（平成 27 年度）信玄公祭りは、昨年度の反省点を改善する形で、さらなる創意工夫を凝らした魅力的な祭りとしていく。また、民間の活力を活用しながら、観光客の滞在時間延長や消費額の向上、さらには新しいマーケット（ターゲット）の開発に努めていく。
- 「甲府大好きまつり」については、民間との連携を重視する中で事業内容の見直しを図り、参加団体や来場者の増加に向けた取り組みを行なう。また、平成 28 年度以降の甲府大好きまつりの再考を図るため、新たに見直し検討委員会等を設置し、開府 500 年を見据える中で、より魅力的な祭りとして開催できるよう検討して、来年度以降に反映する。

成果指標	実績値		目標値			目標値合計 (H27～29)
	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
信玄公祭りの人出 (人)	119,550	135,000	135,000			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	19,300		19,300			

03 受入体制の整備

■観光開発事業 【事業No.04050301←No.04050101】再掲	担当部課係名	産業部	観光課	ダイヤル	237-5702
			観光係		

04 情報発信の強化

■観光開発事業 【事業No.04050401←No.04050101】再掲	担当部課係名	産業部	観光課	ダイヤル	237-5702
			観光係		

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

6 生鮮食料品流通機構

施策の基本的考え方

- 指定管理者制度を活用した効率的で効果的な運営を行うとともに、施設の老朽化対策を行いながら生鮮食料品等の流通の円滑化を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
生鮮食料品流通機構 06	01 健全な市場運営	

7 山間地域

施策の基本的考え方

- 環境保全と開発の調和を基本とした森林の利活用を行いながら、農林業と観光産業の共存できる地域づくりに努めます。
- 山間地域の活用を図りながら、山村の振興に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
山間地域 07	01 自然環境の保全・活用	
	02 山間地域の活用	

8 勤労者

施策の基本的考え方

- 勤労者の生活の安定及び福祉の増進を図るため、県や金融機関と連携して利用者が必要とする資金の調達を支援します。
- 山梨労働局、ハローワーク甲府などの関係機関との連携を図りながら、就労支援を行います。また、退職後の高齢者の社会参加の援助と生きがい対策として、公益社団法人甲府市シルバー人材センターへの支援を行います。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
勤 労 者 08	01 勤労者の生活支援	01 勤労者融資対策事業
	02 雇用対策の推進	01 雇用促進対策事業

01 勤労者の生活支援

■勤労者融資対策事業 【事業No. 04080101】	担当部課係名	産業部	労政課	ダイヤル	237-5736
			労政係		

事業概要

- 勤労者に住宅の新築、増改築及び購入に必要な資金や、医療、教育、その他資金の調達を支援することにより、勤労者の福祉の向上と生活の安定を図る。

現況と課題

- 過去にない低金利状態の中で、生活資金や住宅資金等を目的とした、多種多様な金融商品が登場している。

今後の事業展開

- 制度の利用者が僅かなことなどから、平成 26 年度をもって新規の融資を終了した。今後は、過年度融資に係る原資を預託する。

成果指標	実績値		目標値			目標値 (H27~29)
	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
融資枠(予算)に対する 融資実行率(%)	4.8	13.1	-			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27~29)
	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	553,515		480,931			

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

02 雇用対策の推進

■雇用促進対策事業 【事業No.04080201】	担当部課係名	産業部	労政課	ダイヤル	237-5736
			労政係		

事業概要

- 求職者に対する就労支援。
- 若年者の職業感の醸成及び就労体験の支援。
- 高齢者の生きがいや社会への積極的参加を推進していくため、公益社団法人甲府市シルバー人材センターの運営管理を支援。

現況と課題

- 全国平均の求人倍率が1倍を超える推移のなか、県内は依然として1倍を下回る状況が続いている。また、企業の県内拠点の撤退など、依然として厳しい雇用情勢。

今後の事業展開

- 山梨労働局、甲府公共職業安定所との連携により本市と国で一体的に実施する就労支援窓口「ワークプラザ甲府」を積極的に活用し、就労の促進を図る。
- 中高校生を対象とした若年者就業支援事業（キャリア教育講演会）の実施。
- 甲府市インターンシップ*事業の対象学生と受入事業所の調整を行い、就労体験の場を提供することにより若年者の就労体験を図る。
- 公益社団法人甲府市シルバー人材センターについては、センターの自立に向けた事業展開の強化を促すとともに、広報活動の支援をしていく。

成果指標	実績値		目標値			目標値 (H27~29)
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
ワークプラザ*甲府の 就労相談件数(件)	-	491	1,550			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27~29)
	平成26年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	17,822		17,290			